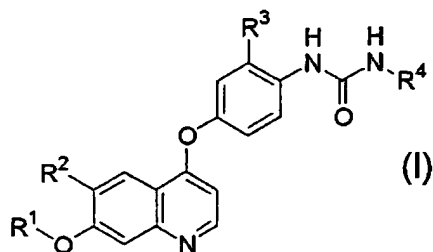


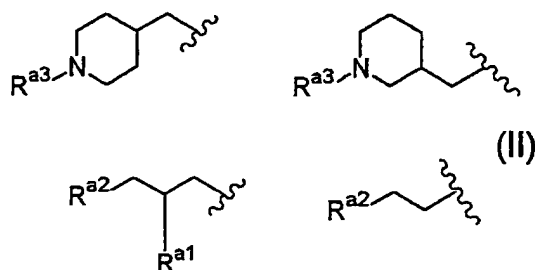
WHAT IS CLAIMED IS:

1. 一般式 I :



[式 I 中、

- 5 R^1 はメチル基、2-メトキシエチル基または式 I I :



- 10 (式 I I 中、 R^{a3} はメチル基、シクロプロピルメチル基またはシアノメチル基を意味する； R^{a1} は水素原子、フッ素原子または水酸基を意味する； R^{a2} は、1-ピロリジニル基、1-ピペリジニル基、4-モルフォリニル基、ジメチルアミノ基またはジエチルアミノ基を意味する。) の何れかで表される基を意味する；

R^2 はシアノ基または式 $-CONHR^{a4}$ (式中、 R^{a4} は水素原子、 C_{1-6} アルキル基、 C_{3-8} シクロアルキル基、 C_{1-6} アルコキシ基または C_{3-8} シクロアルコキシ基を意味する。) で表される基を意味する；

- 15 R^3 は水素原子、メチル基、トリフルオロメチル基、塩素原子またはフッ素原子を意味する；

R^4 は水素原子、メチル基、エチル基、 n -プロピル基、シクロプロピル基、2-チアゾリル基または4-フルオロフェニル基を意味する。] で表される化合物

もしくはその塩またはそれらの水和物を有効成分とする c-Kit キナーゼ阻害剤。

2. R^1 がメチル基である、請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

3. R^4 がメチル基、エチル基またはシクロプロピル基である請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

5 4. R^3 が水素原子、塩素原子またはフッ素原子である請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

5. R^2 が式 $-\text{CONHR}^{*4}$ (式中、 R^{*4} は水素原子またはメトキシ基を意味する。) で表される基である、請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

6. 一般式 I で表される化合物が、

10 (1) 4-(3-クロロ-4-(シクロプロピルアミノカルボニル) アミノフェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド、

(2) 4-(3-クロロ-4-(エチルアミノカルボニル) アミノフェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド、

15 (3) N6-メトキシ-4-(3-クロロ-4-((シクロプロピルアミノ) カルボニル) アミノ) フェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミドおよび

(4) N6-メトキシ-4-(3-クロロ-4-((エチルアミノ) カルボニル) アミノ) フェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド

20 からなる群から選ばれるいずれか 1 の化合物である、請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

7. 請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤を有効成分とする、c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌を治療する抗癌剤。

25 8. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、肥満細胞性白血病、小細胞肺癌、GIST、睾丸腫瘍、卵巣癌、乳癌、脳腫瘍、神経芽細胞腫または大腸癌である請求項 7 に記載の抗癌

剤。

9. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、小細胞肺癌または GIST である請求項 7 に記載の抗癌剤。

5 10. 患者から取り出した癌細胞が c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現することを確認した後に投与することを特徴とする、請求項 7 記載の抗癌剤。

11. 請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤を有効成分とする、肥満細胞症、アレルギーまたは喘息の治療剤。

10 12. 請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌を患った患者に投与する、癌の治療方法。

15 13. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、肥満細胞性白血病、小細胞肺癌、GIST、睾丸腫瘍、卵巣癌、乳癌、脳腫瘍、神経芽細胞腫または大腸癌である請求項 12 記載の方法。

14. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、小細胞肺癌または GIST である、請求項 12 記載の方法。

20 15. 癌の治療方法であって、
癌を患った患者から癌細胞を取り出す工程と、
当該癌細胞が c-Kit キナーゼを過剰発現している、または変異型 c-Kit キナーゼを発現していることを確認する工程と、
請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を当該患者に投与する
25 工程と、
を含む癌の治療方法。

16. 肥満細胞症、アレルギーまたは喘息の治療方法であって、請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、前記疾患を患った患者に投与する、治療方法。

5 17. 請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、c-Kit キナーゼを過剰発現しているまたは変異型 c-Kit キナーゼを発現している細胞に適用する、c-Kit キナーゼ活性を阻害する方法。